



No. 173

9月 定例会

2023.11.15

やいづ 未来へつなぐ

議会だより

特集 井伊直孝公のふるさと
中里倶楽部⇄市議会



ここに注目!

特集：未来へつなぐ

市民インタビューVol.21 1

9月定例会概要..... 3

市政をただす！一般質問..... 6

各委員会の議案審査..... 14



井伊直孝公の生まれ故郷を多くの人に知って欲しい！

中里倶楽部さん

議員が直接話を聞いて市民の本音に迫る「市民インタビュー」。

今回は、中里倶楽部さんにお話を伺いました

中里倶楽部さんの活動について教えて！

中里倶楽部は、平成29年に発足し、中里地区の20人で活動しています。

倶楽部を結成する前から、井伊直孝公の生まれ故郷を多くの人に知ってもらいたいという思いや、地域の歴史遺産に誇りをもち、地域づくりに活かさればという思いがありました。そんな中で、2029年に行われる若宮八幡宮の400年祭まであと10年というのをきっかけに、倶楽部を作り活動を始めました。中里に内在している歴史遺産の豊かさを子どもから

大人まで共有していければと思います。活動をしています。

主な活動としては、子どもたちの夏休みの工作教室として「赤備えの兜や甲冑づくり」を開催したり（表紙写真に掲載）、井伊直孝公を広く皆様に知っていただくための「パンフレット」やまんが「井伊直孝物語」、また「直孝まんじゅう」を作成したりしています。また年間を通して、「直孝の産湯の井」や「若宮八幡宮」の視察や歴史散策にきた市民の方々に、会員がおそろいの陣羽織を身につけが이드をしています。



中里倶楽部副会長
増田俊彦さん

それぞれの活動について詳しく！

「井伊の赤牛」と恐れられた直孝公の「赤備えの兜や甲冑づくり」を子どもたちの夏休みの工作教室という形で毎年8月に開講しています。コロナの影響により3年間中止となりましたが、今年は4年ぶりの開催となり、多くの子どもたちが参加し、大変好評でした。

また、直孝公を知っていただくための「パンフレット」やまんが「井伊直孝物語」は、市からいた



今回インタビューに対応していただいた中里倶楽部の会長、副会長と河合議員（写真左）、四之宮議員（写真右）



直孝まんじゅう



「赤備えの兜や甲冑づくり」の様子
(完成品を被った子どもたちの様子を表紙に掲載しています)

だいた補助金で計2千部を発行し、中里地域の全世帯、焼津市内の公民館、観光案内所、市の図書館などに配付しています。また、まんが「井伊直孝物語」の絵は、地元大学生に協力してもらい描いていただきました。

若宮八幡宮の400年祭に向けての目標は??

400年祭に向けて準備委員会が結成されたので、中里倶楽部もそれに全面的に協力していければと思っています。

今のところは、若宮八幡宮の老朽化が進んでいるため、400年祭に向けて修復が必要と考えています。

修復にあたり、若宮八幡宮にどのくらいの価値があるのかがよく分からない、という声にこたえるために、浜当目に住んでいる伝統文化財（古建築）に詳しい久保山幸治様（古建築）に詳しい久保山幸治様が協力していただき、井伊直孝公が寄進した若宮八幡宮の歴史的価値についての講演会を神社で開催したところ、ありがたいことに50人以上の関心のある方々が集まってくれました。

また、修復のための修繕費の寄付活動を、令和5年9月から行っています。

若宮八幡宮の歴史については、

まんが「井伊直孝物語」にも掲載されているので、是非ご一読いただければと思います。（下記2次元コードよりご覧いただけます。）



若宮八幡宮本殿（焼津市中里）

行政に期待するところは??

地域の中で人と人との関わりが少なく無くなってきた中、それぞれの地域に内在している祭りの文化の普及を市が積極的にやっていただきたいと思っています。市内各地域にある祭り文化を、地域の皆さんで楽しむことで、隣近所の人と人の顔が見えるようになり、暖

井伊直孝公の半生と焼津市との関わりがよく分かる、まんが「井伊直孝物語」は下記2次元コードからご覧下さい。（市HPにリンクします）



かな人間関係はぐくまれることで地域防災や高齢化時代に役立つていくのではないかと思います。

定例会 概要

令和4年度全会計の決算を認定！

市議会9月定例会は、9月1日から10月4日までの34日間の会期で開かれ、市長提出議案20件、議員提出議案1件を審議。

9月1日 本会議第一日

- ・ 市長専決処分による報告(承認案件)1件を上程し承認
- ・ 決算12件(一般会計1件、特別会計8件、企業会計3件)、補正予算3件(一般会計1件、特別会計1件、企業会計1件)、条例案件1件、一般案件1件を上程(市長提出)

9月19日・20日・21日 本会議第二日～第四日

- ・ 一般質問13議員(P6～12参照)
- ・ 議案質疑3議員

9月22日・25日・10月2日 各委員会の議案審査

- ・ 各委員会で付託された議案を審査(P14～17参照)

10月4日 本会議第五日

- ・ 9月1日に上程された17議案の審査結果報告及び討論を経て、全て可決(P4・5参照)
- ・ 補正予算1件(特別会計)、一般案件1件が追加上程され、委員会審査を経て、全て可決(市長提出)
- ・ 意見書1件を採択し国へ送付(議員提出)(P13参照)

主な議案の審議結果



令和4年度焼津市介護保険事業特別会計歳入歳出決算認定について

歳入 130億 133万7,379円
歳出 121億2,840万6,482円

全会一致認定



令和4年度焼津市国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算認定について

歳入 132億3,656万9,988円
歳出 131億1,831万4,203円

賛成多数認定



令和4年度焼津市一般会計歳入歳出決算認定について

歳入 628億5,914万8,120円
歳出 594億9,261万2,327円

賛成多数認定



令和4年度焼津市水道事業会計決算認定及び余剰金処分案について

事業収益 21億1,937万2,430円
事業費用 18億8,838万3,079円
当年度純利益 2億3,098万9,351円

賛成多数認定及び原案可決



令和4年度焼津市病院事業会計決算認定について

事業収益 148億2,019万4,354円
事業費用 144億5,750万1,201円
当年度純利益 3億6,269万3,153円

全会一致認定



令和4年度焼津市港湾事業特別会計歳入歳出決算認定について

歳入 7億4,137万4,952円
歳出 7億1,091万4,904円

全会一致認定



令和5年度焼津市一般会計補正予算(第4号)案

増額 8,663万1千円

さかなセンター活性化対策事業費、観光イベント開催事業費、道路施設補修費など

全会一致原案可決



令和4年度焼津市後期高齢者医療事業特別会計歳入歳出決算認定について

歳入 19億 418万4,052円
歳出 18億4,595万6,432円

賛成多数認定



令和4年度焼津市公共下水道事業会計決算認定について

事業収益 17億7,787万9,757円
事業費用 18億7,023万6,218円
当年度純損失 9,235万6,461円

全会一致認定

議案20件中、賛否が分かれた採決状況

(○印は賛成、×印は反対 石田江利子議長は可否同数の裁決以外は採決に加わりません)

議案名		議決結果	賛成:反対	四之宮	鈴木ま	井出	藤岡	村田	原崎	吉田	奥川	石原	内田	増井	河合	石田	村松	川島	杉田	岡田	秋山	池谷	鈴木浩	深田
市長提出議案	認第17号 令和4年度焼津市一般会計歳入歳出決算認定について	認定	17:3	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	×
	認第20号 令和4年度焼津市国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算認定について	認定	17:3	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	×
	認第24号 令和4年度焼津市後期高齢者医療事業特別会計歳入歳出決算認定について	認定	18:2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	×
	認第26号 令和4年度焼津市水道事業会計決算認定及び剰余金処分案について	認定及び 原案可決	18:2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○

■ 「認第17号 令和4年度焼津市一般会計歳入歳出決算認定について」に対する討論の主な内容を掲載します。

反対討論

杉田 源太郎 議員

財政調整基金は77億4千万円に上り、ため込み過ぎである。ふるさと納税寄付金は過去最高の75億円、市民の切実な願いを実現するために基金を活用すべきだ。新庁舎建設事業費約16億円、大雨時の2階連絡通路問題、エレベーターのエアコン未設置他、立体駐車場の幅が狭い他の問題点等は発注者に責任がある。S I C周辺拠点整備事業費約5百万円、「まちづくり」の中心に「環境と食と農業」の位置づけが問われている。ミニステーションの運営事業費約1千万円、大富は代替地が見つかるまで土日一定時間は開設するべきだ。

賛成討論

奥川 清孝 議員

歳入においては、本市の歳入の根幹である市税は前年度比2.2%の増であり、全国からご寄附をいただいたふるさと納税については、75億7千4百万円と令和3年度から10億8千7百万円増収となり、産業振興に大きく寄与している。歳出においては、福祉・保険、教育文化、産業振興、観光振興、防災・都市・環境の各分野において事業が着実に推進されている。今後も、行財政改革による事業の見直しにより、財政の健全性を維持しながら、市民福祉の向上につながる施策の推進のため、努力を傾注されるよう要望する。

■ 「認第20号 令和4年度焼津市国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算認定について」に対する討論の主な内容を掲載します。

反対討論

杉田 源太郎 議員

令和4年度の国保会計は見込み違いで、実質収支額や基金が増額している。国保被保険者世帯の生活を守るために、12億円の基金から2億7千万円を活用し、国保税均等割2万8千円を1万円引き下げることや、未就学児均等割の対象者を独自に拡充すること、国庫支出金を増額させ、「払いたくても払えない」国保被保険者を救済する手立ても充実させることが求められている。また、短期被保険者証は令和4年度分を納めていても、前年度以前の未納があると短期被保険者証になってしまうため、新たな基準が必要である。

賛成討論

奥川 清孝 議員

歳出の全体額は131億1千8百31万円と、対前年度比で99.6%、約4千8百万円の減額となった。繰越金については、被保険者数の減少などによる一人当たり国保事業費納付金の増加が予想され、円滑な運営に備えるために基金に積み立てるなど、今後の国保財政の安定運営のために充当することが適切である。歳入においては、国保税の収納率が上昇しており、財源確保への姿勢がうかがわれ、また、基準外繰入も行われていないことから、国保会計の健全な運営が行われていると認められ、本案に賛成する。

市政を質す！

一般質問

9月定例会では、13議員が一般質問を行いました！

議員個人が市の執行機関に対して、市の事務の執行状況や今後の方針などについて質問を行います。

スマートフォンやタブレットをお持ちの方は、右記2次元コードからもアクセスできるほか、各議員の顔写真下に掲載された2次元コードから直接、議員の映像配信をご覧ください。



高齢者も障がい者も安心して投票ができる環境整備の推進

Q 本年2月の焼津市議選では過去最低の投票率を記録した。市として投票率向上への今後の取り組みは。

A 高齢者や障がい者への支援について、国からは投票所への移動支援のほか、投票所内での投票支援が紹介されており、本市の地域特性にあった効果的な支援方法を調査研究していく。

Q 投票の環境を整えていくために投票支援カードの導入を提案したいが、導入への見解を伺う。

A 投票支援カードは、全国の自治体で導入されていることは承知している。様式がいろいろあるので先進事例を参考に検討する。



かわしま かなみ
川島 要
(公明党議員団)



不登校の児童生徒に対する教育機会確保への公的な支援を

Q 不登校支援に対するこれまでの本市の取り組みは。

A 適応指導教室を市内2か所に設置し、社会的自立に向けて、指導・支援している。フリースクールとも連携を図っている。

Q 適応指導教室にもフリースクールにも当てはまらない子が一家の外に出て、第三者と触れ合う場を作ることをお願いしたいが、市としての方向性を伺う。

A 不登校児童・生徒は、個々にかかっている環境に違いがある。文科省のCOCCOLOプランにも、学校内外の居場所として校内教育支援センターのほか、学びの多様な学校(不登校特例校)、自宅におけるICT等を活用した学習活動などが示されている。より温かできめ細やかな支援について検討を進めていく。

スマートIC周辺まちづくり は優良農地の活用こそ

Q 農地、優良農地は焼津市の財産という認識でいいか。

A 優良農地は市の貴重な資源であることに変わりはない。

Q 優良農地を守るため農政はどのような取り組みをしているか。

A 新規就農者の育成、確保、担い手への農地集積の加速化、スマート農業の展開への支援など。

Q 水田やその水路に益虫を見かけなくなった。環境問題として農政は関知しているか。

A 承知していない。

Q 農政としてラウンドアップや、ネオニコチノイド系の農薬の影響をどう取り扱っているか。

A 環境の変化についての答えは持っていないが、化学農薬・肥料使用量を削減する取り組みがあることは承知している。

Q ダイヤモンド構想計画に沿って優良農地を守っていくのか。

A 現在もこの計画が生きている。

Q 土地区画整理準備組合が行った静岡市東名スマートIC周辺の



すぎたげんたろう
杉田源太郎
(日本共産党市議会議員団)



視察は参考になるところがあったのか。

A 役員の方々から非常に参考になったと聞いている。



介護・福祉タクシーの周知を

Q 介護保険が適用できる費用は。

A 介護タクシーの乗降介助に係る費用のみ適用。運賃等は対象外。

Q 市の窓口で配布している資料だと介護保険が使える介護タクシー会社かどうか分かりにくい。資料の訂正、修正をする。

福島原発汚染水（ALPS処理水）海洋放出中止を

Q 環境、経済への影響についての見解は。

A 国政レベルの事案で、国において議論されている。

新病院建設事業の 状況と今後の予定

Q 新型コロナウイルス感染症の影響で建設の延期を決め、その後2年半が経過した。建設に向けた取り組みの現状を伺う。

A 新病院建設事業の現在の状況と今後の予定については、今年度中に県が策定をする第9次静岡県保健医療計画との整合を図る。実施設計の着手時期については、令和6年度の基本設計完了後、必要な手続を行った上で、令和7年度を予定している。新病院の病床規模は、直近の受療率を踏まえて算出した必要病床数410床から423床の範囲を基本とし、今後の患者数の動向等を踏まえながら、決定をしていきたい。新病院建設工事の着手時期については検討中だが、令和8年度に工事着手、令和12年度中の開院を目指すこととなる。新病院開院後、現病院の解体工事や外構工事については、新病院の運営に支障が生じないように行っていく予定である。



むらまつしげまさ
村松幸昌
(凌雲の会)



焼津市立総合病院

コロナ禍後の観光振興施策

Q コロナ禍後の観光の現状及び今後の振興施策を伺う。

A 観光協会や市内事業者と連携をして、体験型プログラムの企画開発に取り組んで行く。観光庁の「観光地・観光産業の再生・高付加価値化事業」を利用して、宿泊施設では客室のグレイドアップなど、観光施設では老朽化した施設の撤去、体験型施設の整備、直売所の整備などが予定されている。インバウンド等に取り組みに当たり、観光においてもキャッシュレス化のさらなる推進が今後重要になる。

持続可能な焼津市のための 総合戦略策定に向けて

Q 焼津未来創生総合戦略改定版の策定予定は。

A 令和6年3月完了予定。

Q 戦略策定における市民の参画は。

A 市民アンケート、ワークショップ

など幅広い層の市民が参画。

Q 市民ラインアンケートの分析は。

A 2500件を超える回答。アンケートを分析し、伺った意見を

しっかり戦略に反映していく。

Q 戦略に含まれることも施策策定

にはことも基本法により、こ

もの意見反映が義務付けだが。

A 市民アンケートにおける子育て

世代の特徴など分析中。

Q デジタル田園都市構想総合戦略

とスマートシティYAI-ZU推

進方針の関係は。

A デジタルの力を活用して誰もが

便利で快適な暮らしを実現する。

2つの戦略は同じ理念。推進方

針を総合戦略に落とし込む。

Q 戦略に対する議会との審議は。

A 11月上旬を目途にまとめ、11月

から12月に説明の機会をつくる。



ふじおかまき や
藤岡雅哉
(無党派)



ポストコロナにおける 観光振興

Q ポストコロナ時代を迎え、新

な焼津市観光ビジョン策定は。

A 令和6年7月までに策定予定。

Q 新たな観光目標設定は。

A 新たな観光振興計画で示す。

Q ふるさと納税寄附者への観光促

進の具体的取り組みは。

A 公式ライン登録案内と観光やイ

ベント情報を配信している。

Q 新たな観光名所として新港エリ

ア周辺土地の有効利用は。

A 新港エリアのうち市単独用地は、

用地開発可能性調査で民間活力

の活用の可能性を探っている。



新港エリア周辺

認知症施策に待ったなし！ 行政や市立病院での取り組み

Q 焼津市内の認知症に関する医

療・介護体制の整備状況は。

A 日常生活圏域ごとに設置してい

る4か所の地域包括支援セン

ターで総合相談支援を実施して

いる。また、認知症に係る対応

が定まっていない方や家族への

支援として、認知症サポート医

と地域包括支援センターをチー

ム員とする認知症初期集中支援

チームを日常生活圏域ごとに配

置している。

Q チームオレンジやチームオレン

ジコーディネーターに関しての

実績は。

A チームオレンジは所定の認知症

に関する講座を受講した人が

チームとなり、現在は11チーム

が地域で認知症の方を支える活

動に取り組んでいる。令和4年

6月から、チームオレンジの立

ち上げや活動を支援するため、

コーディネーターを1名配置し、
配置後に6チームが設立されて
いる。



いしはらたかゆき
石原孝之
(無党派)



Q 認知症患者の病院内での安心感
や落ち着いた環境を整備するた
めの取り組みは。

A 認知症認定看護師を中心に構成

された認知症ケアサポートチー

ムが定期的にカンファレンスと

回診を実施し、認知機能が低下

された方に対するケアや薬物療

法に関する相談、助言等を行っ

ている。また、認知症に関する

院内職員研修を実施する等、認

知機能が低下された方が安心し

て療養生活を送ることができ

よう取り組んでいる。



認知症になっても安心して暮らせる
まち焼津市～予防と共生～
(厚生労働省の認知症施策推進大綱より)

市民スポーツの今後の方向性をどう考えるのか

Q 当市はレスリング、野球、相撲等にトップ選手を輩出してきた。今後、これに続く選手を生み出すための振興策をどのように考えていくのか。

A 競技スポーツに取り組む人口を拡大し、裾野を広げていくことが市として重要な役割であり、結果として、より運動能力の高い選手を見出せる可能性、確率を高めることにつながるものと認識している。そのため、スポーツ推進計画の更新にあたり、改めてトップアスリートの育成、輩出に関する目標及びその取り組みを示すことは考えていない。



スポーツ振興で明るいまちづくり!



おかだ みつまさ
岡田光正
(無党派)



障がい者雇用の相談窓口

Q 国では、令和6年度から障がい者の就労支援を行う事業者を対象とした助成金制度を検討している。こうした国の制度活用を視野に入れた、障害者雇用促進に向けた相談窓口の設置の可能性は。

A 現状ではハローワークの相談体制が市より充実しているため、市で別に相談窓口を設置せず、ハローワークへ適切に案内をしていく。ただし、相談があれば市としても適切に対応していく。

公共施設の設備点検の現状

Q 点検マニュアル等は整備されているか。また、事故等への対応はどうか。

A 日常点検マニュアルを作成して点検をしている。専門的な部分については年6回実施。また、事故対応マニュアルを整備し、緊急時の連絡先を定め、迅速に対応できる体制を整えている。

LGBT法の運用について伺う

Q LGBT法(性的指向及びジェンダーアイデンティティの多様性に関する国民の理解の増進に関する法律)の運用に当たり、女性の権利及び安全への配慮等が必要であると考えられる。本市は公共施設での女性トイレや更衣室、公衆浴場はどのように運用していくのか。また性自認は女性で、身体的には男性の方が、女性用を使いたいと希望された場合に、どのような対応を検討されているのか。



すずき きよみ
鈴木木ゆみ
(無党派)



A この法律は今年6月23日に公布、同日施行され、これに合わせ厚生労働省からは公衆浴場での取り扱いについて、身体的な特徴をもって判断する旨の通知が出された。一方、トイレや更衣室での取り扱いについては示されていない。今後、国などの動向を注視していく。

Q 学校教育現場では運用を計画しているか。

A 学校では、これまでも性的少数者に係る対応の1つとして、児童・生徒に対して、日常の教育活動を通じ、人権意識の醸成を図るよう努めている。また昨年12月に改定された文部科学省発生の生徒指導提要の中の性に関する課題にも性的少数者に関する課題と対応が示されており、学校においてそれを参考に対応している所である。なお、LGBT法への対応については、本年6月23日付の文部科学省通知を受け、各学校において引き続き、きめ細やかに対応するよう通知した所である。



安心・安全なまちづくりの 取り組みについて伺う

Q 焼津市耐震改修促進計画第3期の進捗を伺う。

A 本年8月末現在での耐震化率は93・6%となり、県が公表している直近の統計値では、県内の人口10万人以上の都市においてトップクラスである。

Q 家具転倒落下防止対策を講じている世帯はどれ位あるか。

A 令和4年度の世帯家族調べによると家具の転倒防止対策を講じている世帯は79・2%である。

Q 住民防災対策事業の一環として、災害時協力井戸という制度への拡大は図れないか。

A 災害時における様々な先進事例を調査し、保全制度の拡充に向けて検討を進めていく。

Q 避難所の体制作りで非常に大事になるのが、水の確保。特に多くの人を収容する指定避難所に学校がある。市内小中学校22校のうち17校には井戸があるが、井戸のない5校に対して、井戸を整備する考えはあるか。



すずきひろみ
鈴木浩己
(公明党議員団)



A 井戸のない5校の防火井戸の設置について検討を進めていく。

交通安全対策

Q 道路区画線の更新を実施しているが、今後の計画は。

A 区画線の劣化状況のほか、車線を感知する自動車の安全運転システムの普及などを踏まえ、更新計画を前倒しする見直しを行った。本年度下半期より令和7年度上半期までの2年間で緊急対策期間と位置づけ、例年の2倍以上のペースで更新をする総事業費1億円の計画である。



きれいに整備された道路区画線

人手不足は深刻な状況 人材確保対策を！

Q 求人困難な分野の「マッチングフェア」を開催する考えは。

A ハローワークと連携して企業と就労を希望する市民との「マッチング」の機会を設ける。

Q 就職準備金制度を創設する考えはあるか。

A 就職準備金制度は、ニーズを捉えながら効果的な支援制度について広く検討する。

Q 魅力的な企業・事業所の認証制度・奨励金の創設は。

A 魅力的な経営を行っている企業の情報発信、企業に対する新たな認証制度を検討する。

人口減少対策への取り組み 移住・定住の促進を！

Q 移住定住の戦略的な取り組みに向けた計画・方針を伺う。

A 来年度から重点的な事業実施に向け、データ分析や専門家の意見を踏まえ計画策定している。

Q 市長は静岡岡市長会会長であり、東海市長会の会長でもあるが、他

市の市長と、どのような話をして
いるのか伺う。



おくがわきよひこ
奥川清孝
(凌雲の会)



A 各市が競争するのではなく、地域に合った施策でやっていこうと市長会で話をしてしている。焼津市は、30代から40代でお子さんがいる方をターゲットにして進めている。激戦地域で予算もかかるが前に進める。

中小企業・小規模事業者への 設備投資補助金を！

Q 設備投資に対する補助事業は。

A 補助を実施し、事業承継など産業振興を図るうえで課題に対し広く意見交換を行う。



中小企業者省エネ設備等投資促進事業
(写真はイメージ)

リプロ推進、公共施設・学校トイレに生理用ナプキン常備を！

Q セクシャル・リプロダクティブヘルス/ライツ（以下リプロ）。日本語では「性と生殖に関する健康と権利」と訳され、1994年カイロで開催された国際人口開発会議において提唱された概念で、リプロは子どもを産む、産まない、いつ何人産むかを女性が自分で決める基本的人権。内閣府の男女共同参画局はリプロに関する意識を広く社会に浸透させ、女性の生涯を通じて健康支援を推進し、本市は第3次焼津市男女共同参画プラン第4章健康支援に位置付けているが、社会に広く浸透しているとは言えない。①第4次プラン策定に向けリプロの啓発、健康支援の充実はどうか。②藤枝市では7月25日から女性が生きにくさを感じない環境づくりを推進するため、女性多目的トイレに生理用ナプキンを試験的に設置。本市もリプロの視点から常備を。

A ①リプロの視点を持ち、策定市民会議などを通して研究する。②公



ふくだ ゆき子
深田ゆり子
(日本共産党市議会議員団)

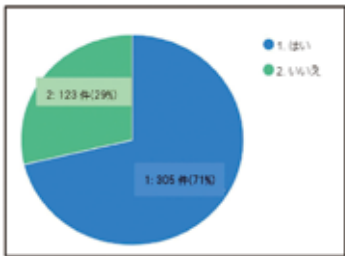


共施設トイレへの常備は検討していないが、女性が生きにくさを感じない環境づくりを推進していくことは大切である。

Q 富士市教育委員会は児童生徒にアンケートを実施し、生理用品がトイレにあったら利用したいかが71%。昨年4月から女子トイレに置き、小学4年生から高校生まで使用。予算は年間54万円、本市もできるのではないかと。

A 本市の姿勢は生理用品を保健室に取りに来ることから児童生徒と関わりを持ち相談をしてもらう。

5 生理用品がトイレにあったら利用したいですか？



富士市教育委員会「生理用品に関するアンケート」より
回答者数: 428名
小学生: 149名
中学生: 216名
市立高校生: 63名
質問は 8 まであり、一部を掲載

富士市教育委員会アンケートより

来年、開港60周年を迎える大井川港について伺う

Q 物流について具体的にどのような取り組みをしているか。

A 港湾活用のモーダルシフトを提案するなど、物流効率化を促進するポートセールスを展開する。

Q 賑わいの観点から大井川港活性化推進事業について市の考えは。

A 漁協直営食堂さくららは地域振興と交流活動の拠点となっている。またクルーズ船の誘致活動を行っている、物流とにぎわいの両面で地域振興に取り組んでいく。

Q 開港60周年の特別なイベント等の計画は。



大井川漁協直営食堂「さくら」



よしだ ましひこ
吉田昇一
(凌雲の会)



A 60周年の記念事業は、商工会や観光協会などと連携し、踊夏祭に合わせたイベントの開催、記念式典の実施を検討している。

生成AIの活用

Q 市の職員の利用および市民サービスへの活用は。

A 職員の利用はガイドラインを策定し試行運用を開始。職員の業務効率化は現在検証をしている。

Q 教職員の活用は。

A 生成AIによる教師の働き方改革は、現在学校教育課等で有効な活用方法等を研究している。

結婚にふみきれない人たちへの支援

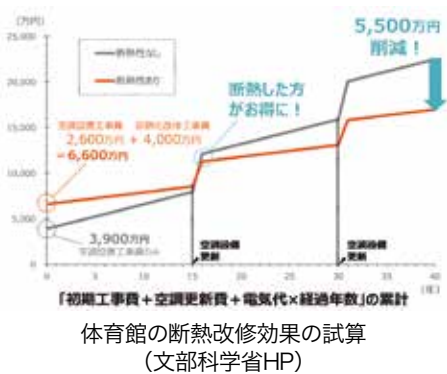
Q マッチング登録料などの支援について、結果と評価は。

A 令和4年度末で、市民の登録者82人、交際成立者6人、成婚者1人と、効果が得られている。登録料の支援は、仕組みについての検討を、県へ要望していく。

学校断熱改修の実現を求めて

Q 8月に「焼津市断熱セミナー」が開催され、学校の教室を会場に「断熱ワークショップ」も実施されている。こうした断熱改修を市内の小中学校に市の公共事業として展開していくことについて今後の可能性を伺う。

A 今回のセミナーとワークショップは市民や事業者が断熱改修に主体的に取り組む「行動変容」を促すことが目的。建物の断熱化のメリットを見える化するため、まずはワークショップで施工した断熱改修の効果を検証していきたい。



あきやまひろこ
秋山博子
(無党派)



Q 行動変容は全てに求められており公共施設が率先してやるのが大事ではないか。

A 2050年ゼロカーボンシティを宣言しているので、公共施設の断熱化も含めて取り組んでいく。

地域防災施設を使った避難生活訓練の実施を

Q 市では自主防災会ごとの避難地・避難所を公表している。これらの避難所を使った訓練を実施していない自主防災会への支援や働きかけはどのように行っているのか。

A 自主防災会役員には住民が主体的に避難所運営ができるよう避難所開設訓練の実施などお願いしている。

Q 掛け声だけでなく何らかの働きかけはどうか。

A 例えば避難所の開設訓練をどのような形でやっていいか分からないという場合は職員が地域の皆さんに個別対応していく。

小・中学校の先生方が笑顔になるための働き方改革

Q 市内中規模程度の学校における小学校・中学校教諭の、会議を含む週当たりの平均持ち時間数と、最も多い教諭の持ち時間数は。

A 小学校で約22、中学校で約21であり、最も多い教諭は、小・中学校ともに28である。本市教育委員会としては、教員が教材研究等の業務を勤務時間内に行えるよう、適切な持ち時間数とする必要があり、そのためには教員の定数改善が必要であると考え、引き続き国や県に働きかけている。

Q 本市独自で、または各学校で行っている働き方改革の事例はあるか。

A 市として中学校の地域クラブ活動を他市町に先駆けて推進したり、低学年支援員など、多くの人員を学校現場に配置したりしている。各学校での取り組みでは、午前中5時間の日課を組んだり、生徒の登校時間を従前より遅らせたりしている。

ひとり暮らし高齢者の生きがいづくり

Q ひとり暮らし高齢者が最期まで自宅で暮らしていくための施策について伺う。

A いつまでも自宅で元気に暮らせるよう、介護予防や社会参加、生きがいづくりの支援を行っている。介護等が必要な状態となっても、自身が望む医療や介護のサービスが受けられるよう、在宅医療と介護の関係機関における連携の推進を図っている。



むらたまさはる
村田正春
(凌雲の会)



下江留第3町内会公会堂で毎週行っている「焼津こぼん体操」

硬膜外自家血注入療法（ブラッドパッチ療法）に対する 適正な診療上の評価を求める意見書

交通事故やスポーツ外傷等、身体に強い衝撃を受けたことが原因で発症する脳脊髄液漏出症（減少症）の様々な症状によって、苦しんでいる患者の状況が、全国から数多く報告され、山形大学を中心に関連8学会が参加し、厚生労働省による研究が進んだ結果、平成28年4月から治療法として、硬膜外自家血注入療法が保険適用となり、それまで高額な自費診療での治療を必要としていた方が保険診療のもとに治療を受けることができるようになった。脳脊髄液の漏出部位は1箇所ではなく、頸椎や胸椎、腰椎、仙椎でも起こる事が報告されており、硬膜外自家血注入療法を安全に確実にを行うためには、X線透視下で漏出部位を確認しながら治療を行う必要があるが、現状の診療上の評価に、X線透視下で治療を行うことが要件として含まれておらず、診療報酬の面から、安全性の高い治療ができない状況にある。また、脳脊髄液漏出症（減少症）の患者の中には、硬膜外自家血注入療法（J007-2）の保険適用要件に掲げられている「起立性頭痛を有する患者に係る者」という要件が当てはまらない患者もいるため、その場合も認める必要がある。

よって政府においては、下記の事項について所要の措置を講じられるよう強く要望する。

記

- 1 硬膜外自家血注入療法の診療報酬において、X線透視を要件として、漏出部位を確認しながら安全に治療を行うことができるよう診療報酬を改定すること。
- 2 脳脊髄液減少症の症状として、約1割は起立性頭痛を伴わないとの研究結果もあり、起立性頭痛を伴わない場合も診療報酬算定の要件として認めること。
- 3 脳脊髄液減少症の実態調査を実施し、患者・家族に対する相談及び支援体制を確立すること。
- 4 ブラッドパッチ療法に関する「先進医療」認定施設を各都道府県に設けること。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

令和5年10月4日

焼津市議会

<提出先>衆参両院議長、内閣総理大臣、財務大臣ほか関係大臣

令和4年度、焼津駅北口駐車場の利用が好調 ～令和3年度比5,190台、約253万円の増～

総務文教常任委員会

焼津市土地取得事業特別
会計歳入歳出決算認定

Q 土地貸付収入はアトシ管理組合などに貸し付けている駐車場用地と
のことだが区画として算出している
のか。

A 賃借料は土地全体の貸し付けとして
算出している。

焼津市病院事業会計決算
認定

Q 経営改善コンサルティング業務委
託の内容は何か。

A 新病院建設に向けた経営改善業務
として、経営体力の強化を目的に
現状の課題の調査分析、費用削減
等の調査、新病院基本設計の病床
規模の再検証などを行っている。

Q 脳神経内科の外来の人数は昨年度
を同程度であるが、収入が2億円
ほど増えている。この要因は何か。

A 脳神経内科で使用する薬剤で高額
なものが使用されたことが要因。

建設経済常任委員会

焼津市駐車場事業特別会計
歳入歳出決算認定

Q 使用料収入が令和3年度に比べて
増加している理由は。

A 焼津駅北口駐車場の利用が伸び、
前年度に比べ、利用台数が519
0台、収入が約253万円増加し
た。上限料金の導入により長時間
の利用がしやすくなったことで、
利用者が増えたものと考えている。



焼津市し尿処理事業
特別会計歳入歳出決算認定

Q 歳入が令和3年度に比べて増加し
ている理由は。

A 浄化槽の清掃件数が増加したため
である（前年度比449件増）。

焼津市水道事業会計決算
認定及び剰余金処分案

Q 営業収益が減少している中、営業
活動上の費用を抑える取り組みは。

A 電気料金を抑えるため、配水場設
備に高効率の機器を導入するなど、
費用を抑えるよう取り組んでいる。

令和5年度焼津市水道事業
会計補正予算（第1号）案

Q 土地売却価格の算定方法は。

A 土木管理課に土地評価額の算定を
依頼し、標準地評価額に比率を乗
じて算出している。

令和5年度焼津市港湾事業特
別会計補正予算（第1号）案

Q 堆積土砂のしゅん濇を行うとのこ
とだが、場所は。

A 今回の補正予算では、北岸壁付近
にある飯淵川等からの土砂が流
入・堆積しており、船舶の安全な
航行のため、しゅん濇を実施する。

国保の診療報酬額増加傾向 介護保険事業は新型コロナウイルス感染症の影響大

焼津市国民健康保険事業 特別会計決算認定

Q 外国人被保険者数と推移は。

A 4月1日現在の外国人被保険者数と、全外国人登録者数に占める割合は、令和2年度は582人12・6%、令和3年度は575人11・9%、令和4年度は548人11・6%である。減少傾向にある。

Q 診療報酬額の最近の伸び率は。

A 診療報酬額と前年度からの伸び率は、令和2年度は約74億3千9百万円、93・56%、令和3年度は約77億7千9百万円、104・57%、令和4年度は約77億8千6百万円、100・08%である。令和2年度以降増加傾向である。

焼津市介護保険事業 特別会計決算認定

Q 居宅介護サービス給付費や一般介護予防事業費の執行率が低く、不

用額が生じている理由は。

A 新型コロナウイルス感染症の影響

により、サービスの利用控え等があり、執行率が抑えられたと思われる。

Q 介護予防・生活支援サービス事業

費の執行率が少ないのは、事業の実施体制が不十分なのは。

A 介護予防事業の担い手不足が一因と考えている。

Q ころばん体操や居場所への補助の

件数と内容は。

A ころばん体操については、映像機器の補助2件と、専門職の派遣を行った。居場所については、2件の補助を行った。



焼津市後期高齢者医療事業 特別会計決算認定

Q 保険料の納め方の内訳は

A 特別徴収（年金天引き）が約1万7千8百人、82・5%、普通徴収（納付書払い等）が約2千人、9・5%、併徴（特別徴収と普通徴収）が約1千7百人、8%である。

焼津市印鑑条例の一部を改正する条例の制定について

Q 対象者数は把握しているか。

A 令和5年8月末時点におけるマイナンバーカード保有枚数は約10万8千枚で、そのうち対応しているアンドロイド9以上の端末を持つ人が対象になる。スマートフォンの機種別の保有率がわからないため、対象者数は把握していない。

Q アンドロイド以外の端末はいくら利用できるか。

A 対応時期は未定である。

さかなセンターを起点に地域経済の回復を！
イベント等の実施や空き店舗対策として新規誘致など

令和5年度 補正予算

さかなセンター活性化
対策事業費

Q 事業費として1千5百万円の増額とあるが、事業の目的と内訳は。

A さかなセンターの活性化のための増額。コロナ禍を経てのマーケティング等の費用、物販飲食等を提供する観光交流施設のトレンドの調査、誘客対策としてイベント等の実施、空き店舗対策として新規誘致や現況の調査などを予定している。

Q この時期に補正する必要は。

A ここ数年のコロナ情勢、海外情勢の変化の影響を受け、原材料費の高騰、エネルギー価格の高騰により、運営会社の経営が大変厳しいと聞いている。徐々に来場者は回復していると聞いているが、産業観光の交流拠点である、さかなセンターの賑わいを取り戻すことにより、地域経済の回復を図っていく。

令和4年度 決算 (総務文教分科会 所管分)

スマートシティ推進事業費

Q 防災情報等の配信は迅速化されたのか。

A LINEや防災メールでの配信を従来は人力でやっていたが、スマートシティ焼津のプラットフォームから自動で迅速に配信できるようにした。

住民防災対策推進事業費

Q 家具の転倒・落下防止器具取付けサービスから感震ブレイカーの3事業の実績は。

A 半導体不足の影響により、業者がストップしている。ある程度普及は進んでいるが、足りない部分は周知を努める。

自主防災組織育成費

Q 学生・女性の加入促進事業の実績は。

A 若い世代を中心とした加入促進のため、大学での啓発ブースの作成、チラシの作成を行っている。静岡

福祉大学や静岡大学の学生から女性団員が加入している。

Q 女性の団員として登録されている人数は。

A 10月1日現在で基本団員が443人。うち女性は29名。内訳は、女性消防隊が19名、団員が10名。



やいづ親善大使の漫画家 瀬戸口みづきさんによる消防団PR小冊子

学校給食物資費

Q 物価高騰対策への対応は。

A 予算措置し物価高騰に対しても、それまでと変わらない量、安全・安心な給食を提供した。

Q 予算措置を行わなければ、給食費が上がったのか。

A 同じような内容で提供するのであれば、値上げをする必要があった。

令和4年度 決算 (市民福祉分科会 所管分)

消費者保護費

Q 消費者被害防止の迷惑電話防止機器推進事業、出前講座の概要は。

A 迷惑電話装置を約1年無料で使えるという事業であり、令和4年には11台申し込みがあった。出前講座は国家資格を持った職員が説明を行う。令和4年度は3回実施し85人の参加があった。

不妊治療助成費

Q 特定不妊治療の受診者数の傾向は。

A 不妊治療の医療費が令和4年度から保険適用になったため、受診者数が非常に多くなっている。

母子保健費

Q 乳児家庭全戸訪問について、生後4か月までの乳児のいる家庭(830人)への全戸訪問までの期間

A 2か月を目途に全て訪問している。

Q 訪問後の支援は。

A 1回目の訪問後、約50人は継続して地区担当保健師やこども相談センター(現こども家庭センター)と一緒に訪問している。

民間保育所等給付費

Q 令和4年度の待機児童は何人か。

A 国の基準での待機児童は4月1日現在ゼロ人であるが、希望したところに入らず、行きたくない、行けないという理由で断った人は184人いる。

Q そのうち、解消したのは何人か。

A 人ごとに入園の統計はとっていないため、回答は難しい。



令和4年度 決算 (建設経済分科会 所管分)

空き家活用対策事業

Q 空き家除却の補助金の実施状況は。

A 6件に対し175万3千円を補助。

Q 管理不全な空き家の状況は。

A 市で把握している件数は63件。

自主運行バス運営事業費

Q 線の変更による利用状況は。

A 自主運行バスだけのときよりも、改編を行ったことにより大井川地区の公共交通機関の利用者は増加している。

焼津駅周辺にぎわい創出事業費

Q 官民連携による事業手法の検討を行ったとあるが、具体的な内容は。

A 焼津駅の南口エリアのにぎわい創出のため、既存の小石川公園、駅前小公園、小石川駐車場、商店街などの活用方法について、今後導入すべき施設機能の内容や規模を

検討し、市場価値や、企業からの注目度などを調査したものである。

Q 調査の報告書は公開されているか。

A 国土交通省のHPにて公開中。

Q にぎわい創出のための計画書は今後公開されるのか。

A 地域の方等の御意見等を踏まえ、令和5年度中には完成する予定。



焼津市駅前通り商店街にて出店希望者を募集している商店街チャレンジショップ

合併処理浄化槽設置事業費

Q 設置者に対して補助をするという事業だが、予算が不足した結果、補助の待機組はいたのか。

A 合併浄化槽の設置代については、壊れていない限り翌年7月以降の

申請を促すような形で案内をした。

※予算決算審査特別委員会…全議員で構成し、一般会計予算及び決算に関する議案を審査します。令和4年度から当初予算と決算は分科会(各常任委員会単位)、補正予算は全議員で審査しています。

特別委員会行政視察報告

◎2特別委員会合同視察（令和5年7月12日～14日）

- 議会運営委員会
- 議会改革検討特別委員会

◇市民と議会のつどい、議会ICT、会派の取り扱いについて

（山口県下関市）

市政の情報発信、議会活動報告のため「市民と議会のつどい」を全議員が参加し開催している。



◇政策提案、議会ICTについて

（広島県三原市）

市民との意見交換の場を設定し、提出した政策提言の内容を報告。提出した提言は委員会ごと市長から回答が提出され、所管事務調査として追跡調査を行っている。

◇「チーム議会」による議会改革の取り組みについて

（岡山県岡山市）

超党派のプロジェクトチームにより年1本の政策条例を制定。政策条例の議会報告会を開催し、約200人の市民が参加し、活発な議論が行われた。



◎やいづ市議会広報特別委員会（令和5年8月1日～2日）

◇議会だよりのリニューアルの経緯、発行の方針について

（埼玉県戸田市）

「右開き・縦横混在」から「左開き・横書き」に変更。表紙写真、題字などは市民の目線を大切に。市民に分かりやすく、親しまれ、すっきりと「伝わる」ものを目指したりニューアルを行った。



◇議会だよりの編集について

（東京都あきる野市）

議案名や条例の名前、事業名などは市民に分かりやすい表現に改めている。市民目線のコンセプトを守る継続性と、市民感覚から外れないよう、4年に1回は見直す機会を設けている。

各委員会の行政視察報告は右記2次元コードから
議会ホームページでご覧いただくことができます。

（アップロードまでお時間をいただくことがあります。）



市役所本庁舎北側駐車場に 温泉スタンドが完成！



8月31日、本庁舎北側駐車場内に整備された焼津温泉スタンドの完成セレモニーが開催されました。

モンゴル国チンゲルテイ区議 会訪問団が市議会を訪問！



10月10日、モンゴル国ウランバートル市チンゲルテイ区議会訪問団による焼津市議会への表敬訪問がありました。

11月の市議会



日程は変更になる場合がありますので、最新の情報はHPなどでご確認ください。

本会議の様子は、インターネット中継でもご覧いただけます。

日	曜日	内 容	開会時間
11/16	木	本会議（議案の上程）	9:00
12/5	火	本会議（一般質問）	9:00
12/6	水	本会議（一般質問・質疑）	9:00
12/7	木	常任委員会	9:00
12/15	金	本会議（委員長報告・質疑・討論・採決）	9:00

編集後記

行政視察で伺った、昨年リニューアルした「とだ議会だより」は驚きの連続でした。紙面は左開き・横書きに変え、表紙の題字や写真は子どもたち、議会活動の内容も豊富で工夫が満載！編集方針は「議会だよりは議会・議員の動きを市民に伝える重要なメディア。」

結果を伝えるだけでなく、読まれ、役立ち、議会を身近に感じてもらうための『伝わる』議会だよりを目指す。とても参考になり、ぜひ活かしたいと思います。

（深田）

やいづ市議会広報特別委員会

河合一也、深田ゆり子、四之宮慎一
村田正春、原崎洋一、川島 要